

かながわボランティア活動推進基金21 協働事業負担金

～事業提案募集説明会のお知らせ～



↓↓↓ まずは**募集説明会**にご参加ください ↓↓↓

令和8年 6/10 (水) 14:00～

場所: かながわ県民センター11階コミュニティカレッジ講義室2

1. 基金21事業説明会

14:00～14:50

県課題提案部署による説明
(政策局 いのち・未来戦略本部室)
(文化スポーツ観光局 国際課)
(環境農政局 自然環境保全課)

○基金21事業の概要及び応募にあたっての留意点等についてご説明します。
(参加は応募の 必須条件 ではありません。)

2. 個別相談(希望団体)

15:00～16:00

先着順で対応させていただきます。

○説明会終了後、希望者を対象に個別相談(一般部門・課題部門)を行います。基金21のどれに応募しようか迷っている方、応募書類の書き方や申請方法が分からない方は、この機会にぜひご参加ください。

参加は、先着20団体(1団体2名まで)とさせていただきます。

申込み、問合せ

かながわ県民活動サポートセンター基金事業課

045-312-1121(内線2831～2)まで
お電話でお申込みください。

ウラ面も
↓↓↓

●協働事業負担金

- ・一般部門……分野を問いません。
- ・課題部門……年度ごとに県が設定します。

<今年の課題部門設定課題>

課題1: 多様な主体と連携した地域コミュニティ活性化モデルの構築

【政策局 いのち・未来戦略本部室提案】

少子高齢化や定年延長、社会環境の変化に伴う担い手不足により、地域活動が衰退し、地域住民が主体的に地域課題(安全・環境・福祉等)の解決に向き合う機会が失われつつある。

企業等も含め地域に関わる様々な主体が無理なく関わり合うために、つなぎ役となる(ハブ機能を担う)担い手の育成や、地域での自走化が可能となる社会実装を見据えた地域コミュニティ活性化モデル構築のノウハウ、県域の活動団体とのネットワークを持つボランティア団体と協働し、市町村・地域の支援を図る。

<想定する事業・取組の例>

- ・地域コミュニティの担い手(人材・団体)や、多様な主体のつなぎ役となるコーディネーターの育成
- ・地域コミュニティ活性化に向けた伴走支援(好事例の創出) など

課題2: ウクライナ避難民等の自立支援

【文化スポーツ観光局 国際課提案】

ウクライナへの軍事侵攻から4年が経過する。避難開始当初は住居や医療など生活する上での困りごとに因る支援が求められていたが、避難生活が長期化する中で、定住を希望する人も増えるなど、異なった支援が求められるフェーズに移行している。

避難民のうち日本での定住を希望する方たちを対象に、長期化する避難生活の状況やニーズの変化を、現場に近いボランティア団体との協働によってきめ細かく把握し、定住のための自立支援など、個人のニーズやペースに寄り添う避難民支援の基盤構築を図る。

<想定する事業・取組の例>

- ・県内で暮らす避難民の現在の生活の状況やニーズの把握
- ・相談に基づき、直接対応または適切なサービスにつなぐ活動 など

課題3: 地域住民と協力した特定外来生物クリハラリスの防除の推進

【環境農政局 自然環境保全課提案】

特定外来生物のクリハラリスは、令和6年3月に神奈川県防除実施計画が策定され、捕獲等が行われているが、県全域で効果的な防除を行うには至っておらず、生態系被害や農林業被害が発生している。

そこで、地域住民への普及啓発等に経験や実績のあるボランティア団体との協働により、広域的な観点で、防除の理解促進を図りながら、捕獲等の推進も行い、地域住民と協力した特定外来生物に対するモデル的な取組として実施していく。

<想定する事業・取組の例>

- ・未生息地域の住民への普及啓発活動
- ・分布拡大地域における捕獲ボランティアの育成 など

上記は概要となります。

詳細は必ず基金21ホームページの募集案内をご覧ください。→



応募受付期間

【令和9年度実施分】

●協働事業負担金

令和8年6月12日(金)～7月22日(水)

●ボランティア活動補助金

令和8年9月11日(金)～10月15日(木)

【令和8年度分】

●ボランティア活動奨励賞

令和8年7月24日(金)～9月10日(木)

説明会場

横浜駅西口徒歩5分



※公共交通機関でお越しください

基金21

検索

